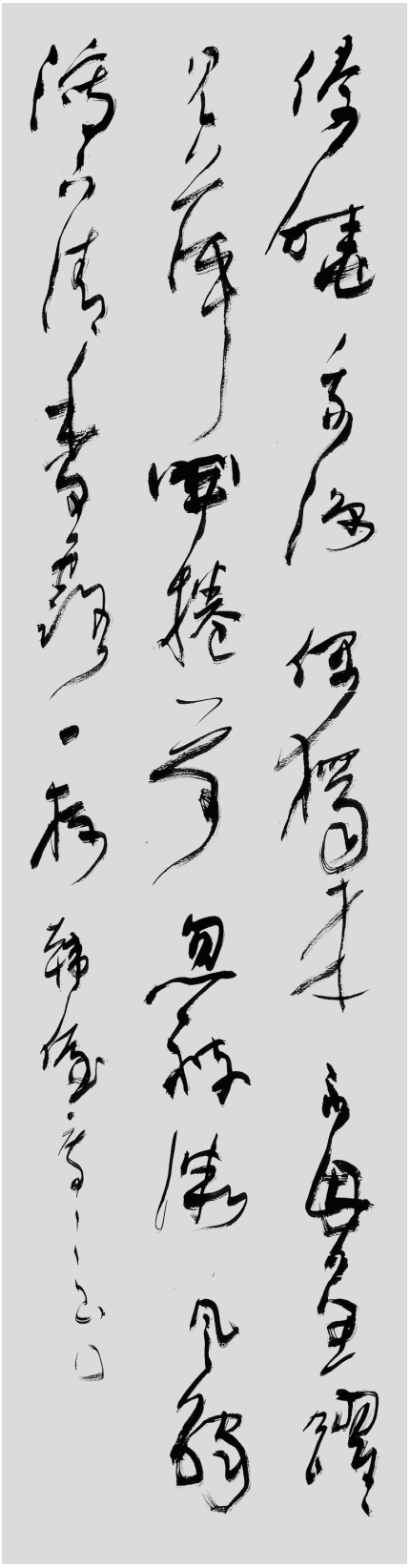
12月15日正午必着

明石春浦先生書



侵レ暁(あかつきをおかし)乗レ涼(りょうにじょうじて)偶獨來(たまたまひとりきたる)
捲荷忽被二微風(けんかたちまちにびふうにふれられ)一觸一
不レ因二魚躍一見二萍開一(うおのおどるによらざれどもひょうのひらくをみる)
瀉下清香露一杯(しゃかすせいこうのつゆいっぱい)　(韓偓)

明石幸子書



丹楓葉落寒(たんぷうはおちてさむし)　(蕭國寶)

紅楓が落葉してさびしくなった。



叶　采園先生書

天寒歳云暮　冰雪關河迥　（王陽明）

寒い冬、年も暮れて、氷雪ふり、故郷の山河は遙かに遠い。関河は郷関の山河。

## 条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

霜月冬氣潔（祝允明）

寒冬十二月　晨起踐二嚴霜一
俯觀二江漢流一　仰視二浮雲翔一

霜月冬氣潔し
寒冬十二月　晨に起きて嚴霜を踐む
俯して江漢の流れを觀　仰いで浮雲の翔るを視る

月は霜に冴えて見える。
寒冬の十二月、朝早く起きて歩めば、厳しい霜を踏む。俯しては江漢の流れをみ、仰いでは浮雲のとび去るを眺める。

秋日過二徐氏園林一　（包　佶）

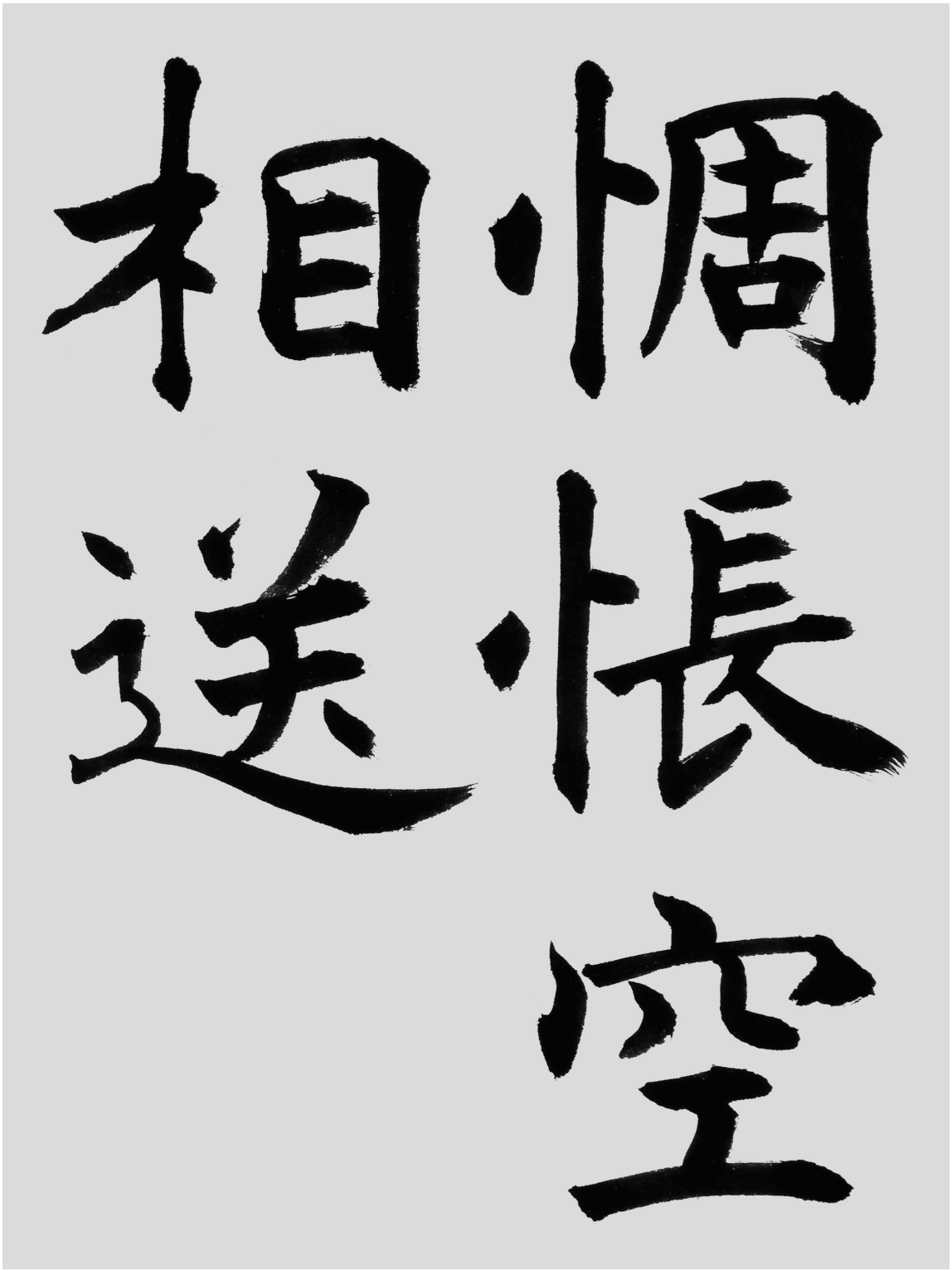
回塘分二越水一　古樹積二吳煙一
掃竹催レ鋪レ席　垂蘿待レ繫レ船
鳥窺新罅栗　龜上半敲蓮
屢入二忘レ歸地一　長嗟俗事牽

秋日　徐氏が園林に過る　包　佶
回塘　越水を分ち　古樹　呉煙を積む
掃竹　席を鋪かんことを催し　垂蘿　船を繫がんことを待つ
鳥は窺う　新たに罅けし栗　亀は上る　半ば敲つ蓮
屢〻帰ることを忘るる地に入り　長く嗟す　俗事に牽がるることを

軒も庭も　ふり埋めける　雪の中に　いやめづらしき　人のおとづれ　（良　寛）

## 半紙部規定課題Ａ

12月15日正午必着

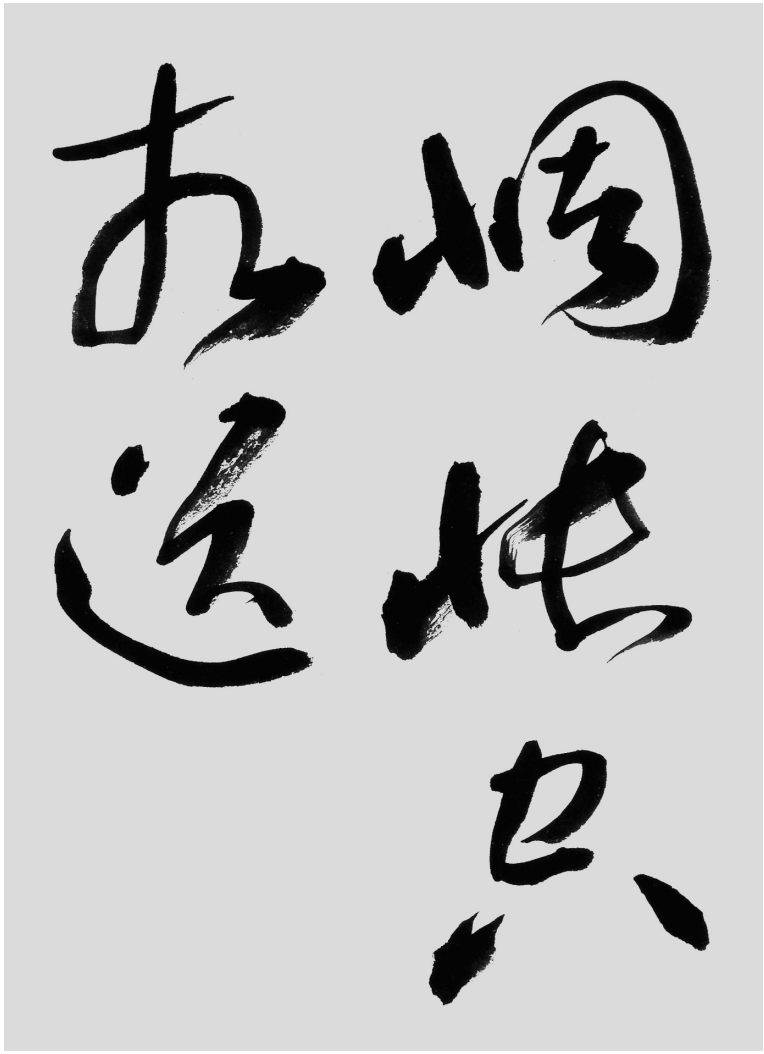



※作品には必ず落款を入れてください。

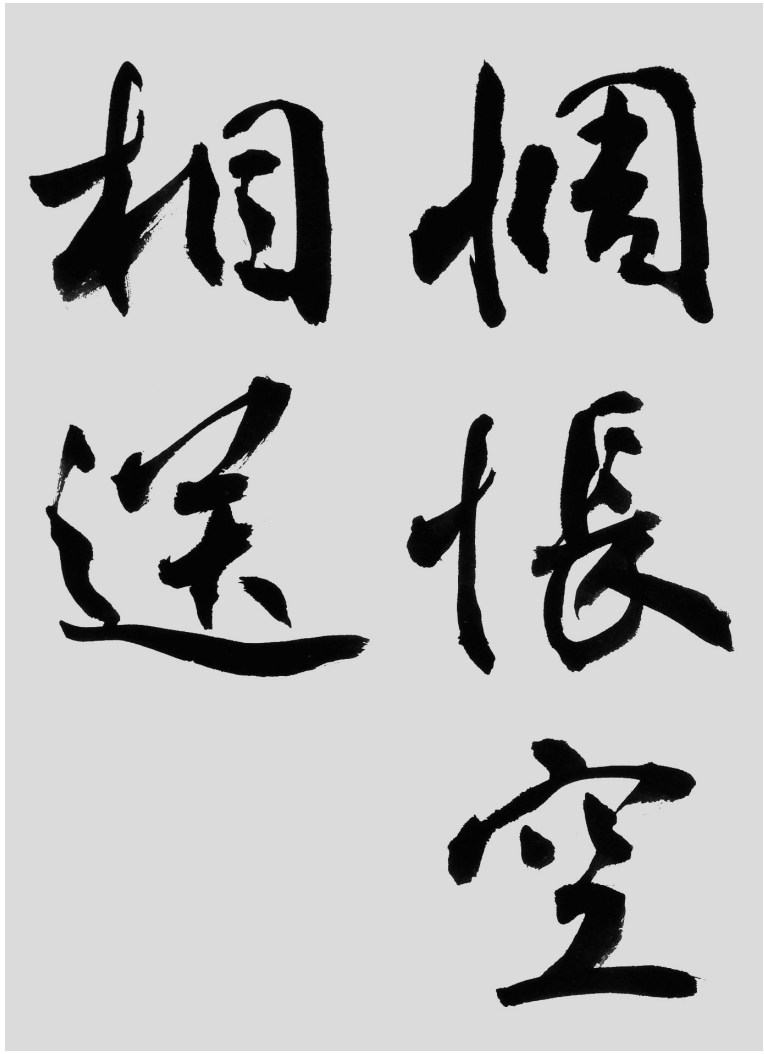
明石春浦先生書

※課題Ａ（楷書）と課題Ｂ（五体の中より一書体選択）の二点を出品のこと。

# 半紙部規定課題Ｂ



草書

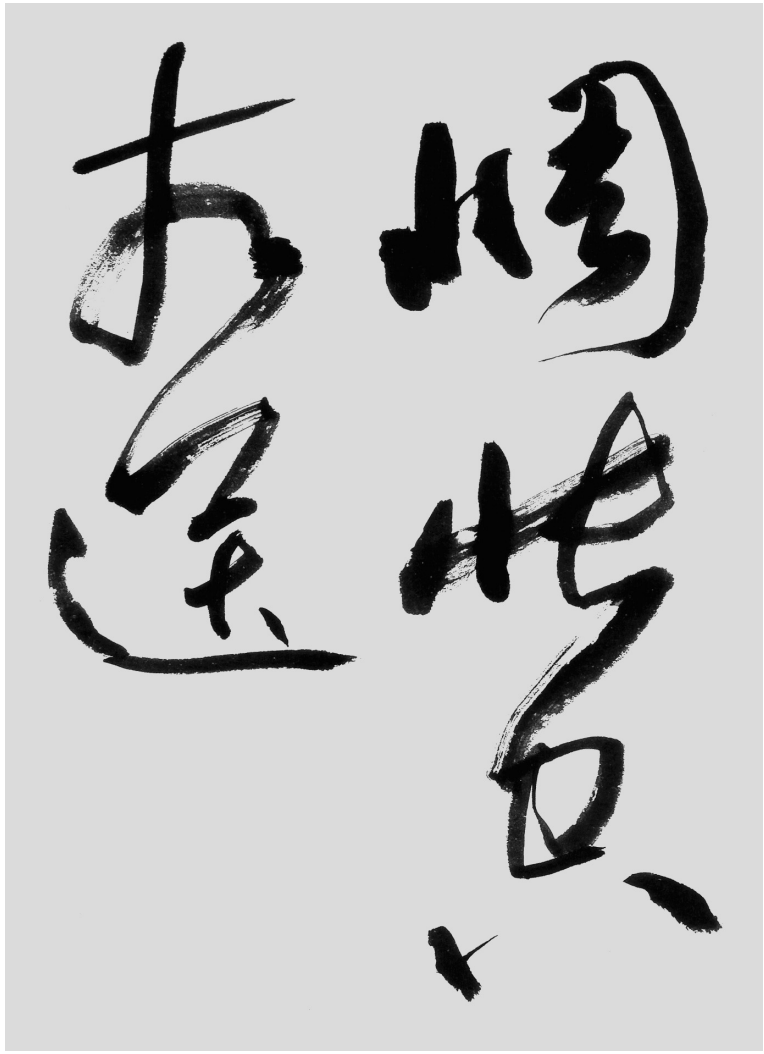


行書

12月15日正午必着



隷 書



行草書

三浦士岳先生書



篆書

送二曹椅一　司空曙

青春三十餘　衆藝盡無レ如
中散詩傳レ畫　將軍扇賣レ書
楚田晴下レ雁　江日暖多レ魚
**惆悵空相送**　歡遊自レ此疎

曹椅を送る　司空曙

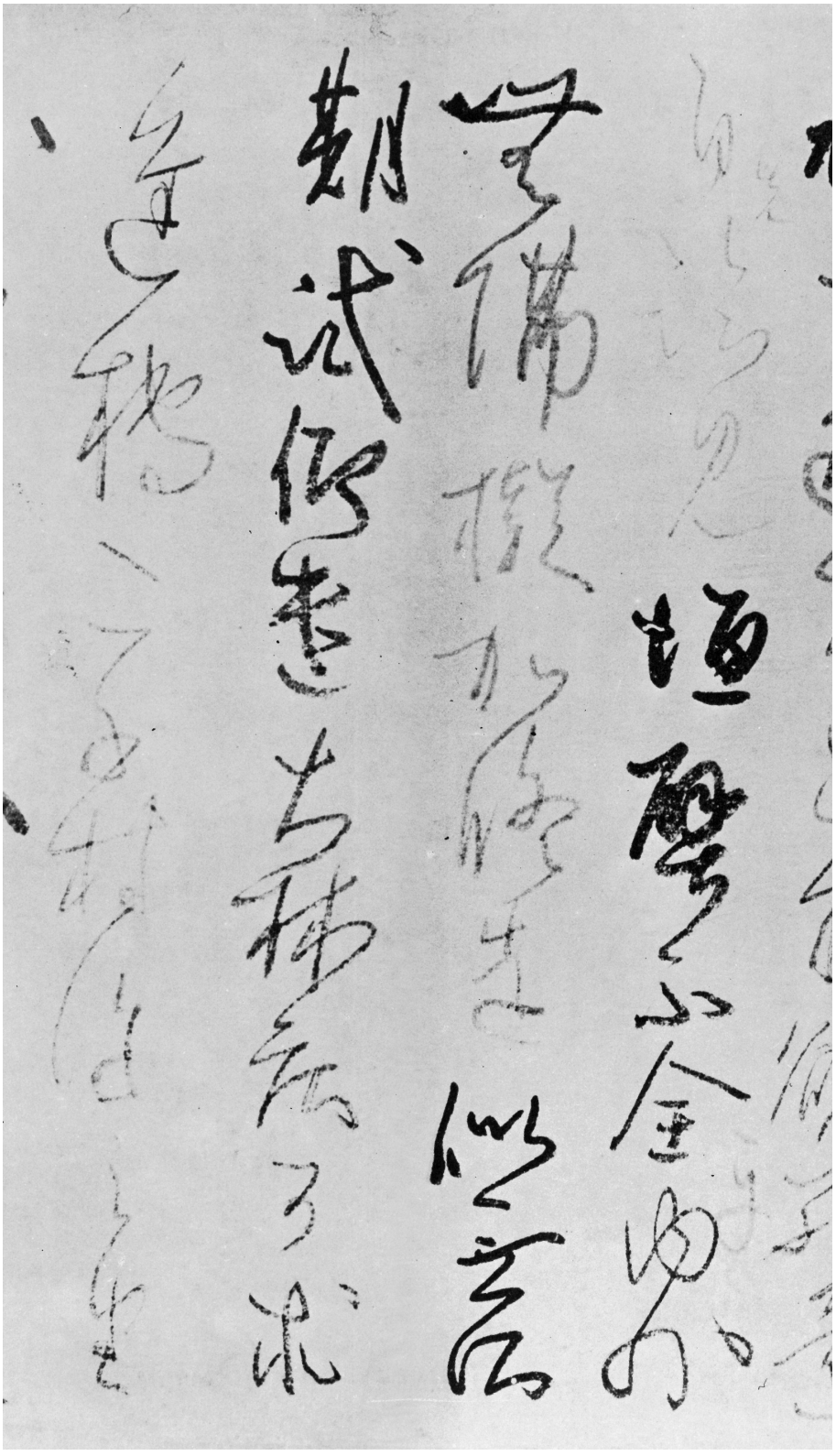
青春　三十余　衆芸　尽く如く無し
中散の詩は画を伝え　将軍の扇は書を売る
楚田　晴れて雁を下し　江日　暖かくして魚多し
**惆悵として　空しく相送る**
歓遊　此れ自り疎ならん

齢三十余りの若さを以て　諸芸はみな及ぶものがない
嵇康のごとく、その詩は絵画に描かれて伝えられ　王羲之のごとく、扇に書かれた文字が売られる
楚の地の田野は晴れわたって雁が下りたち　江のほとりに日は暖かく、魚が数多く泳いでいる
悲しみ嘆きつつ、さびしく君を送る　これからは楽しく遊ぶことはめったになかろう

朝日新聞社刊
「三体詩」下より

12月15日正午必着

# 条幅部半紙部臨書課題



自先臨見。垣壁不全。互内外無隔。擬加修造。似無所期。試仰遣大林庄可求進槫二千村許之由。

自(みずか)らまず臨見するに、垣壁(かんぺき)全からず。互に内外隔て無し。修造を加えんと擬するに、期する所無きに似たり。試(ため)しに大林庄に槫(くれ)二千村許(ばかり)を求め進ず可きの由を仰せ遣すに、



内外隔て無し。

**平安　去夏帖（きょかじょう）・藤原佐理（ふじわらのすけまさ）**

藤原佐理（天慶七年～長徳四年・九四四年～九九八年）は藤原鎌足十二世の子孫で、摂政太政大臣藤原実頼の孫という名門に生まれながら、父の早逝と祖父の死により、最終官位は正三位にとどまった。しかし、佐理は権力には無関心で、その仕事ぶりも適当でわがままであったらしい。

ところが、書においてはその能書ぶりは有名で当代随一の名手と認められ昇進していったのである。（小野道風・藤原行成と共に三跡のひとりで「さり」とも称される）

この去夏帖は丹波守為雅に宛てた書状で、自分の屋敷の垣根の修造に関して提出した陳情書とされている。

文末に向うに従って細い線となり、渇筆も多く、直線的な筆の運びが目立つ。佐理四十歳の筆。

（春濤）



修造を加えんと擬するに、期する所無きに似たり。試（ため）しに大林庄に槫（くれ）（二千村許（ばかり））を求め進ず可き（の由を）仰せ遣すに、

# 細字部課題

12月15日正午必着

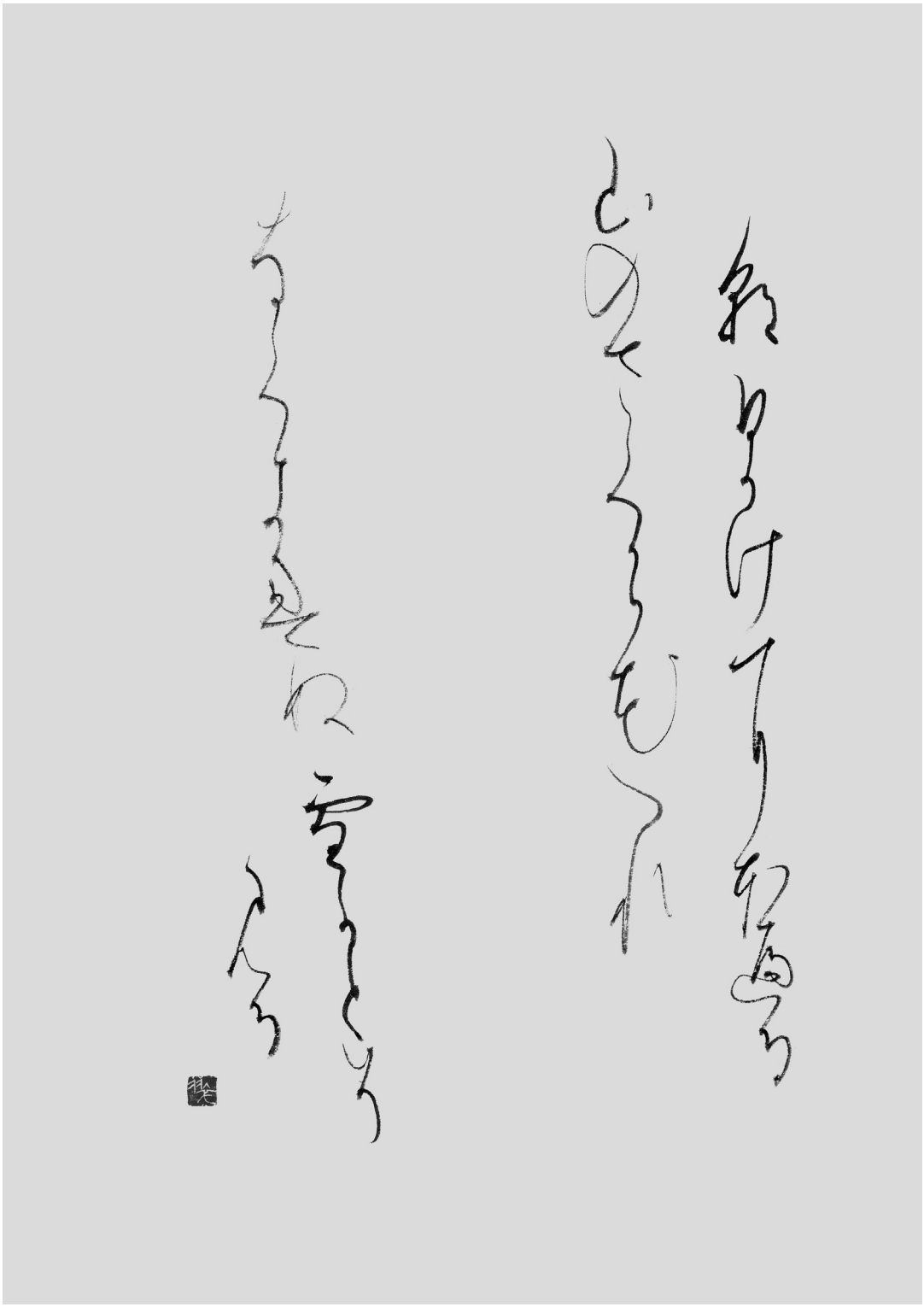



※用紙サイズ…半紙½タテ書き（毛筆）・玄和細字用紙（25枚綴り￥550－税込、送料別）

西墨濤先生書

## 半紙部かな参考

12月15日正午必着



朝日かげ　にほへる山の　さくら花　つれなくきえぬ　雪かとぞ見る　（藤原有家）

可耳本遍　奈支盈　可曽

松永翠舟先生書

12月15日正午必着

# 教育部毛筆



雨宮春聲先生書

滞在（たいざい）　中学一年



菅井松雲先生書

料亭（りょうてい）　中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



榎戸春龍先生書

古典（こてん）　小学五年



横川春川先生書

政治（せいじ）　小学六年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

12月15日正午必着



藤田幸春先生書

日向（ひなた）　小学三年



細谷春誠先生書

年末（ねんまつ）　小学四年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

い　　ぬ　　小学一年・幼年



森戸春濤書

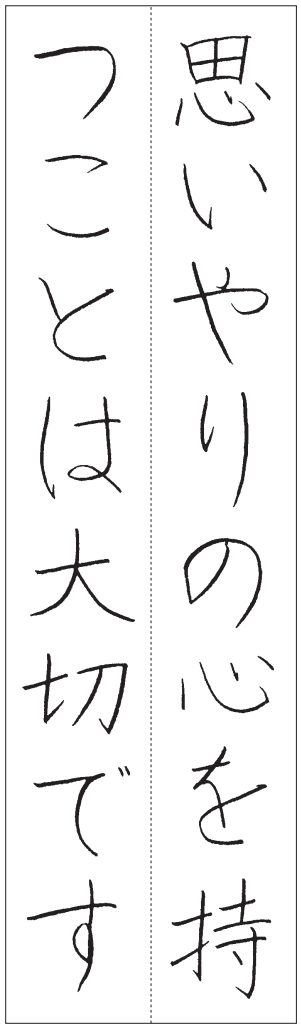
立（た）　つ　　小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

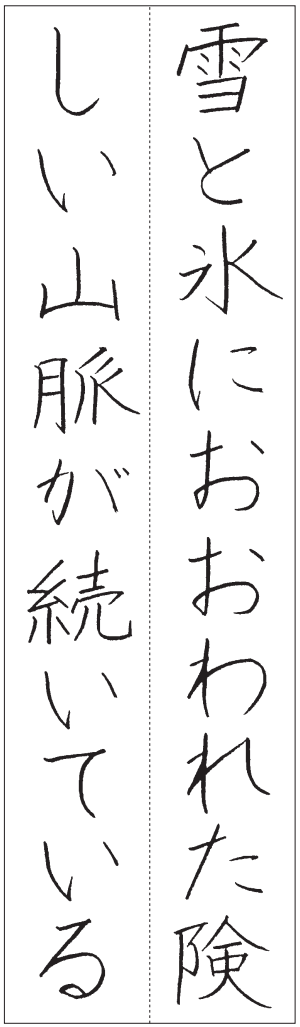
12月15日正午必着

## 教育部硬筆

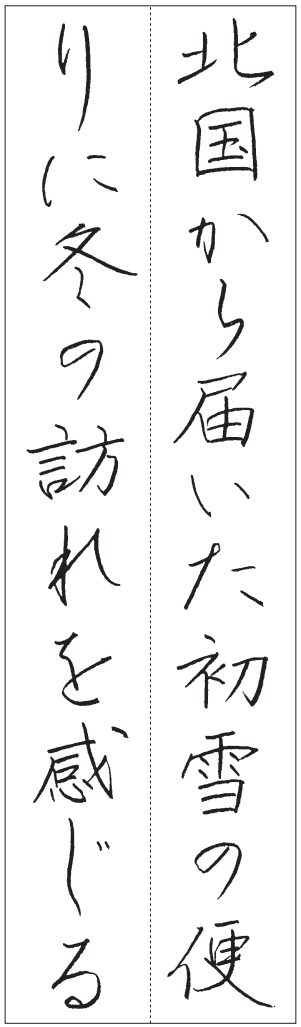
## ペン字部


思いやりの心を持つことは大切です

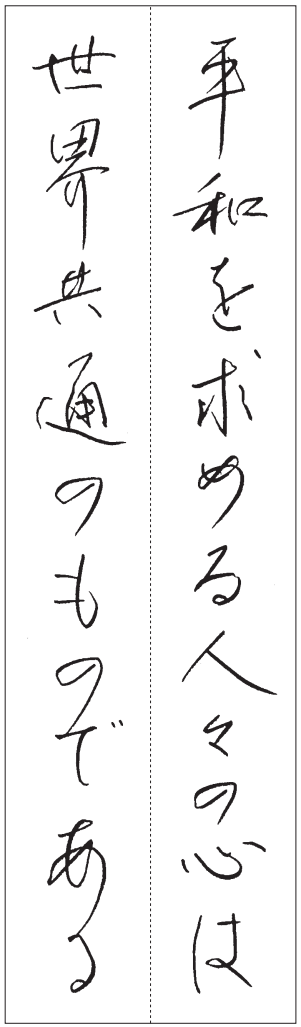
小学五年


雪と氷におおわれた険しい山脈が続いている

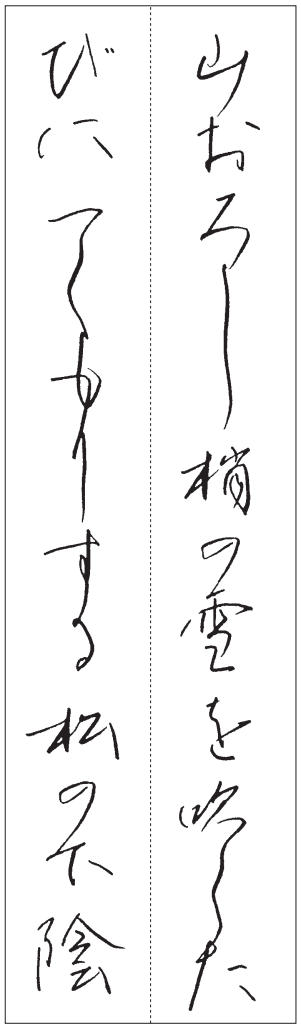
小学六年


北国から届いた初雪の便りに冬の訪れを感じる

中　学


平和を求める人々の心は世界共通のものである

一般（級位）


山おろしの梢の雪を吹くたびに一くもりする松の下陰

山おろしの梢の雪を吹くたびに一くもりする松の下陰（京極為兼）

明石幸子書

一般（段位）

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆　中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。（ボールペン不可）
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。




小学四年　小学三年　小学二年　小学一年　幼　年

明石幸子書



※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆　中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。（ボールペン不可）
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。